

大牟田市立白光中学校

1 本校のESDの特徴

本校は、総合的な学習の時間（白光タイム）に福祉に関わる内容を主な学習としてESDに取り組んできた。1年生では絵本教室（認知症学習）と介護体験学習（高齢者との関わり）、2年生ではペアショッピング（高齢者との関わり）、3年生では保育体験学習（幼児との関わり）、部活動等では白光クッキー社と吹奏楽部による介護施設等におけるふれあい活動を実施した。これ以外には、2年生で職場体験学習、3年生で進路学習によるキャリア教育に関わる内容も学習した。

この取組を通して、コミュニケーションを行う力や他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度を育て、人間性豊かな生徒の育成を目指している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年等	時期	主なテーマ	
		福祉に関わる学習	キャリア教育に関わる学習
1年	5月 11月	・認知症絵本教室（20時間） ・介護体験学習（17時間）	
2年	5月 11月	・ペアショッピング（15時間）	・職場体験学習（20時間）
3年	5月 11月	・保育体験学習（14時間）	・上級学校訪問（12時間）
部活動 等	5月 6月 9月 11月	・それいゆ祭（こもれび） ・明治校区ふれあい祭 ・しらかわ納涼祭 ・手鎌地区文化祭	

3 特徴的な活動事例

○第1学年の絵本教室（認知症学習）について

<目標>福祉学習を通して、様々な人や地域との関わりについて考えることができる。

<実践の展開>

①認知症の現状を知り、絵本教室の流れを考えよう。

- ・学習内容を確認し、認知症の現状を知る。事前アンケートで課題を把握する。

②認知症について絵本教室で学んだことをまとめ、寸劇にして発表しよう。

- ・GTを活用しながら、認知症に関する絵本(1~3話)の読み通しとグループ読みをする。
- ・疑問や感想、大切に思ったこと等を書き出し、模造紙にまとめ、絵本教室で発表する。
- ・様々な場面で認知症の方と出会った時の対応を考え、寸劇で発表する。

<生徒たちの様子>

認知症に関する知識を絵本やGTから学び、グループでまとめたことを絵本教室でした。また、グループで考えた日常の様々な場面で、認知症の方と出会った時の接し方を考え、寸劇で発表した。大牟田の住みよいまちづくりについて深く考えることができた。



○第2学年の職場体験学習について

<目標>地域学習を通して、様々な人や地域との関わり、自分の生き方について考えることができる。

<実践の展開>

①自分の将来について考え、職業に関する情報を集めよう。

・事前アンケートで自分の将来について考え、体験する職業を選択し情報を収集する。

②様々な職業を体験し、自分たちの将来について役立てよう。

・仕事内容や体験で心がけることなどを事前学習で考え、グループごとに体験を行う。

・体験で学んだことを模造紙にまとめ、それぞれの情報を自分たちの将来に役立てる。

<生徒たちの様子>

仕事の種類や内容など職業について関心をもち、将来どんな職業に就きたいかを考えながら、仕事の楽しさや大変さ、仕事で大切な事などを学んだ。まとめでは、体験したことから今後の自分たちに役立つ情報を模造紙にまとめ、情報交換をした。



○第3学年の保育体験学習について

<目標>福祉学習を通して、様々な人や地域との関わり、自分の生き方、社会への参画について考えることができる。

<実践の展開>

①園児との接し方を考え、園児が楽しむ内容を考えよう。

・グループごとに園児が楽しむことを考え、おもちゃづくりの計画を立てる。

②保育体験学習を通して、周囲の支えや自分の生き方について考えよう。

・園児が楽しむ工夫を考えながら、おもちゃづくりをする。

・おもちゃ遊びのりハーサルを行う。 ・園児との接し方を考えながら保育体験を行う。

・学んだことを活動新聞にまとめる。 ・活動報告を行い、自分の生き方を考える。

<生徒たちの様子>

園児を楽しませるためにおもちゃづくりに意欲的に取り組んだ。体験当日は、ほとんどの生徒が積極的に活動し、子育ての大変さを学んだ。まとめでは、今までの周囲の支えと今後の自分の生き方を考えながら、活動新聞を意欲的にまとめていた。



○明治校区ふれあい祭について <生徒たちの様子>



・吹奏楽部の生徒たちは、地域の人たちに喜んでもらうため、日頃の練習を一生懸命頑張り演奏を披露した。地域の方々は、生徒の演奏を喜んで鑑賞していた。

・白光クッキー社の生徒たちは、東日本大震災の復興を支援するために、クッキーを一生懸命販売すると共に、地域の方々との交流も行った。

4 本年度の成果と課題

○成果 ・異質な集団で活動することで、生徒の自律的な活動を促すことができた。

・教科の授業で見られない生徒の一面を評価することができた。

○課題 ・地域素材を効果的に活用したE S Dの計画の見直しが必要である。

・E S Dに関する教師側の定期的な研修会の実施が必要である。